

石島会計メモ



中央区日本橋本石町 4-5-12
友泉本石町ビル 3階
石島公認会計士事務所
(03)3275-1311
発行責任者 石島慎二郎

2019年4月号

軽減税率はややこしいけれど

軽減税率の開始まであと半年

2019年10月から、軽減税率が始まります。飲食料品と新聞の定期購読は8%（軽減税率）ですが、それ以外は基本的に10%（標準税率）となります。一言で飲食料品といっても、飲み物・食べ物であればすべて8%かといえば、そうとは限りません。

よく取り上げられる例のひとつとして、みりんがあります。みりんは料理に使うことが多いのですが酒類に分類され、酒類は飲食料品に含まれませんから10%になります。ただし、みりん風調味料はアルコール分が小さく酒類に含まれない飲食料品となり、8%です。

他にもややこしいケースは盛沢山、今回はその一部をご紹介します。

セット販売の食品は？

ハンバーガーショップではバーガーとポテト、ドリンクのセット販売があります。イスやテーブル等の設備があり、店内飲食も持ち帰りも選べる場合、基本的には持ち帰り（テイクアウト）であれば8%、店内で食べていくのであれば10%になります。



では、「喉が渴いたから飲み物だけここで飲んで残りは持ち帰ろう」とした場合はどうなるのでしょうか？

答えは、セット全体が標準税率の10%となるようです。一部でも店内飲食の意思表示をした場合、メインが持ち帰りかどうかは関係ないということです。極端な話とは思いますが、8個入りのたこ焼きで1個だけ店内で食べていきますという場合も全体が10%となります。



もっとも、販売する側はお会計の際に持ち帰りか店内飲食かを確認すればよく、持ち帰りといって買ったのに店内で食べたとしてもレジを打ちなおす必要はありません。あくまで購入時の意思確認で判定することになります。

「店内飲食の場合はお申し付けください」の張り紙で意思確認を行うことも認められているため、言われなければ持ち帰り扱いにする、というお店がほとんどになるのではないのでしょうか。

レストランへの飲食料品の販売は？

レストランで食事を提供する場合、店内飲食となるので10%の税率となります。では、そのレストランに料理に必要な食材を販売している会社はどうかというと、飲食料品の譲渡ですから軽減税率の8%が適用されます。ただし、もし送料が別途定められている場合は、送料部分は飲食料品の譲渡ではないので送料は10%となります。



屋台やフードコートは「店内飲食」？

フードコートのようにイスやテーブルが食事を提供する人のものではないとしても、お客様に使ってもらっていいよと合意されている場合には店内飲食扱いです。つまり、10%となります。



一方で、食べる場所がない屋台や公園のように誰でも使えるベンチがあるだけの場合などは、持ち帰り扱いの8%となります。

食品のカタログギフトは？

贈答用でカタログに掲載された好きな商品を選んでもらうカタログギフトはよく使われますが、税率は10%になります。食品以外の選択肢があるからというわけではなく、食品のみ掲載されたカタログギフトであっても、飲食料品自体を譲っているわけではないので軽減税率は適用されないのです。



へんだけれど準備は必要

いかがでしょうか。今回取り上げた例もホンの一例、疑問は限りなく、導入予定の10月以降も混乱が続くことは避けられないのではないのでしょうか。

しかし、導入が確定した際には適応しなければなりません。特に、事業者としては請求システムやレジの改修は必要となってきます。「こんな制度は反対！」と心の内で叫んでいたとしても、来るべき導入には対応できるようにしていきましょう。

(文章 石島慎二郎)

東京湾遊覧船に乗船



(乗船者：内藤久子)

東京湾の遊覧船「御座船(ござぶね)：安宅丸(あたけまる)」に乗船して参りました。

安宅丸は、1632年に徳川3代将軍 徳川家光の命により、1634年に完成した御座船(貴人が乗る船)で、別名は「天下丸」。あまりに巨大であったため、実用性がなく、将軍家の権威を示す以外にはほとんど機能せず、膨大な維持費もあり、1682年に幕府によって解体されてしまいました。江戸の名物の一つだったそうです。



全体は和洋折衷形で、船首に竜頭が付いていて、上部は、室町時代から江戸時代初期に日本で多く用いられていた「安宅船(あたけぶね)」と呼ばれる軍船のような作りであったようです。

そんな「安宅丸」をモチーフに作り上げたクルーズ船が「御座船 安宅丸」です。

時間帯により、乗船時間、料金等が異なっていて、

ランチタイムクルーズ … 周遊40分

ショートタイムクルーズ …

(日の出～青海) 30分

アフタヌーンクルーズ … 周遊40分

サンセットクルーズ … 周遊120分

ディナークルーズ … 周遊120分



船首に竜頭は付いていませんでしたが、徳川の葵の御紋は、船側にたくさん書かれてました。

葵の御紋を横目に、とにかく乗船。

乗船すると予想外の服装のスタッフさんのお出迎え。

そのスタッフさんに予約席まで連れて行ってもらいました。

当日はナイトクルーズに乗船。ナイトクルーズは予約が必要で食事も予約時に注文し、普通の格好のスタッフさんが運んでくれます。

たまたまテレビ番組で放送したばかりだったらしく、とても混んでいて、スタッフさん達は少し混乱しているようでしたが、お料理も美味しく堪能致しました。

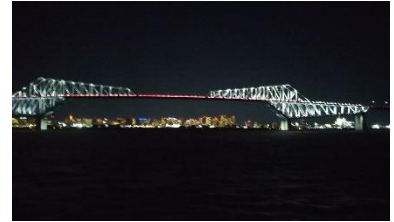


その日は、花火大会もあって、時間になるとアナウンスが流れ、甲板や船内からも見る事が出来ました。空に上がった花火だけでなく、東京湾の上に居るので「ニニから打ち上げているのね」と分かる状態でした。

120分という長い時間のコースなので、周遊する距離も長めです。

レインボーブリッジをくぐり、東京ゲートブリッジをくぐって戻って来ました。

お台場やスワイツリーなども船内から眺めながら…



そして後半、乗船時の予想外の衣装のスタッフさんの正体が判明。

ただのスタッフさんではなく、

「徳川お持て成し役者」でした。

船内に舞台があり、この「徳川お持て成し役者」によるショーが楽しめます。

この役者さん達、元劇団四季の方々など実力者で、あっという間の時間上演に感じる程で、ショーが終わると同時に下船時間(着岸)でした。



実際の安宅丸の詳細や船内装飾に関する資料は残っていないとのことですが、本物の安宅丸はどんなに豪華絢爛だったのか、おそらく想像をはるかに超えた船であったのであろう船に思いをはせながら下船しました。

昼間の写真が欲しいと再度出向いた時は、ほとバスがたくさん並んでいて、外国人もかなり目に入りましたが、とても楽しめる空間です。

普通の居酒屋さんに飽きてしまったら、是非出かけてみてはいかがでしょうか。

